

2021 近況報告

22期生

アルバイトのサッカースクール 教える立場でも学び多い

首都圏の私立大学建築学科の2年生になった男子学生

後期は前期と同じで週2回の対面授業とオンライン授業の併用だった。オンラインにも慣れた後期はより良い成績を目指し、課題などに取り組んだ結果、前期に比べ良い成績をとることが出来た。

部活やサークル活動は始まっていないため、自分の時間がが多く、そのほとんどがアルバイトで埋まっていた。飲食店のアルバイトは高校生の時からやっていて、店舗を移動しただけなので仕事は慣れているが、サッカースクールでは初めてのことが多く、子供に教える立場だが逆に学ぶ事が多い。どう教えたら分かりやすいか、子供のやる気を引き出すにはなど、常に考えることが多い。最近では、練習をメインに回すことも増え、自信にもつながっている。このアルバイトは将来に役立つ力が身につくため、長く続けたい。

2年生からはほとんどの授業が対面に変わるが、更に良い成績や実績を残せるように努力したい。オンライン授業よりも好成績をとるのが難しいため、ノートをとったり、情報交換をしたりすることで、良い結果を出したい。大きな目標としては、建築コンペなどに自分の作品を出展して、自分の作品を高く評価してもらうことだ。より専門的な授業が始まる中で、教授とコミュニケーションをとって、周囲から技術を学ぶことが大切になる。周囲に建築に関心を持った人がいる環境に自分を置くことで、さらに成長できると思い、デザインコースを選択した。コース発表はまだだが、結果がどうあれ夢である建築士は変わらない。常に向上心を持ち、多くのことを吸収できる2年次にしたい。

対面授業が始まることで、交友関係が増え、お金を使う場面も多くなると思う。奨学金は、学費や教材等に使い、趣味や交際にはアルバイトで得たお金を使おうと考えている。奨学金をいただいていることを忘れず努力しようと思う。

3か月の対面授業で大学生活が始まったと実感

四国の中堅大学工学部の2年生になった男子学生

コロナウイルスの流行が収束の兆しを一切見せないまま、大学1年生が終わってしまいました。後期の授業は幸運にもコロナの流行が落ち着いた期間があり、3か月くらいの間学校に通って教室で授業を受けることができました。すべての授業が対面になった

わけではなくオンラインのままの授業もありましたが、それでもやっと大学生活が始まったと感じました。前期の反省を生かして後期はきちんと課題を提出しようと決心し、実行することができました。前期よりも専門科目が増えたこともあり、課題のレポートが増え、提出期日が重なった時は大変でしたが、何とかやり切ることができました。

12月ごろから児童養護施設の先生や母と相談して、施設を出るための準備を進めました。大学の1年が終わった後、施設を出ていったん実家に帰り、4月からは一人暮らしを始めました。自分で洗濯、料理、掃除などをやらなくてはいけないので頑張っています。ただ不安なのは朝決めた時間に起きることができるかということでした。強い振動を発生させることのできる目覚まし時計を用意して早起きを習慣にしています。

最近は授業が始まったこともあり、課題がまた増えて忙しい生活になっています。昨年度がほとんどオンライン授業になり、教室で授業を受ける機会がとても少なくなってしまいました。今年度にはどのくらいコロナの流行がおさまるのか、私には予想することもできません。ですが、今年度もオンライン授業になる科目がありそうです。しかし、初めてではないので昨年度の経験を今年度にしっかりと生かして課題が提出できていない、単位が取れないということがないようにしようと思っています。

小説投稿サイト「カクヨム」コンテストで中間選考突破

首都圏の私立大学2年生になった女子学生

第2セメスターの講義も第1セメスター同様、基本的にはオンラインで行われました。今回のセメスターでは文芸批評や海外文学、出版業界などについて学びました。特に記憶に残っているのは「編集と出版」の授業で、過去の著名な編集者について学んだり、書店員の方にインタビューを行ってレポートを書いたりといったことを行いました。出版に携わる場合に限らない、様々なことを学ぶことができ、とてもためになる授業でした。必修の体育科目「生涯スポーツ理論実習」では、数回の対面授業が行われました。今まで会う機会がなかった同学科の生徒たちと繋がることができ、これからに向てもよい経験ではないかと思います。今は文芸創作学科主催で創作コンペティションが行われています。私は俳句を12句ほど詠み、提出しました。どのような結果になるのか楽しみです。ユニークプロジェクトの方は、コロナ禍という事情もあり、ほとんど活動できていませんでした。しかし、先日メンバー内で話し合いを行い、来年度はオンラインでもできる活動をしていこう、という結論に至りました。本格的に活動が始まるので、気を引き締めていきたいと思います。

大学以外では、変わらず小説や俳句の創作を行っています。デーリー東北新春短編小説では佳作に選ばれ、長塚節文学賞では俳句部門で入選しました。また、「カクヨム」という小説投稿サイトで実施された短編小説コンテストでは、3月23日の中間結果発表で、私の作品が中間選考を突破したという一報が入りました。まさか突破できるとは

思っておらず、正直、未だに信じられません。

4月2日には、1年生だけでなく2年生も対象とした入学式が行われるそうです。サークル勧誘や花火なども計画されています。4月10日にはガイダンスも行われるそうです。専攻科目以外にも、資格系の科目や他学科(心理・社会学科)の授業なども取りたいと思っているので、履修登録や授業開始がとても楽しみです。

オンラインでの授業や課題提出はとても困難

首都圏の私立大学2年生になった男子学生

施設を退所し、1年が経ちました。一人暮らしの当初は、寂しさや不安と葛藤していましたが、1人の生活にもだいぶ慣れてきました。昨年は、コロナの影響が大きく学校への通学もほぼない状況がしばらく続きました。後期に実習を控え、徐々に通学となりましたが、オンラインでの授業や課題提出はとても困難なものでした。困難だった理由は二つあります。

一つ目は、高校とは違い、大学生活では担任の先生がいない為、授業や課題で分からぬことがあっても気軽に聞くことができない状況と、質問があって電話しても、取り次いでもらうまでに時間がかかることに困難さを感じました。二つ目は、課題の提出の仕方が教科によってバラバラだったことです。急にコロナ渦となり、今までなかったパソコン自体にあまり触れる機会がなかったため、メールでの添付の仕方や、PDFへ変換するなど、わからない単語ばかりで、苦労しました。

どうにか1年を乗り越えることができましたが、乗り越えられた理由が三つあります。一つ目は友人関係。大学のサッカーチームに入部し、活動しながら交友関係を広げました。同じ状況下の友人がいることで大学のことを聞いたり調べたりすることができました。二つ目はアルバイト。変わらずラーメン屋で働いていますが、コロナの影響から時短営業となり、収入は厳しくなりました。ですが、僕を必要してくれる上司がいることでとても良い職場環境で仕事することができます。三つ目は、実家と思っている退所施設の職員と連絡が取り合えていることです。コロナで会うことはできませんが、その分、月に一度電話で連絡を取り合い、近況報告をしています。叱られることもありますが、怒ってくれる人がいることに感謝しています。4月からは1年生でやりきれなかった分、一生懸命学校に行き、勉学に励んでいきたいと思います。

TOEFLや漢検や簿記検定などの資格取得に取り組みたい

関西の私立大学の2年生になった女子学生

去年の秋学期まではオンライン授業で、大学にもなかなか行けず、友達もあまり作れませんでしたが、今年の春学期からは対面で授業を受けることができるようになりました。つい先日も、去年の春学期に仲良くなった同じクラスだった人と偶然大学内で会い、よい友達になることができました。

しっかり貯金はしていますが、2年生になったことを機にアルバイト先も探すつもりです。まだまだコロナが収束する気配もなく、私が大学にいる間に留学できるかどうか分かりませんが、もし留学できるようになった時のためにも、これからもしっかり貯金したいと思います。

部活やサークルは1、2年生を対象にした新入生歓迎祭で決めるつもりでしたが、コロナで中止になり、まだどのサークルや部活に入ろうかも決められませんでした。高校生の頃に合唱部に入部していたので、アカペラのサークルに興味があったのですが、そのサークルの体験入部も中止になってしまいました。

今年は資格取得にも挑戦したいです。TOEFLやTOEIC、英検はもちろん、漢検や簿記検定、秘書検定などの資格も取得できるそうです。特にTOEFLや簿記検定などは就職の際にも非常に役立つので、積極的に資格講座に参加しようと思います。対面授業が始まったこともあり、今学期に選択した授業の中にプレゼンをしなければならない授業があります。今までプレゼンをする機会が少なかったので、正直今からとても緊張しています。同じ授業を選択した人に知り合いや友達もおらず、しかも全体で300人程度の履修者がいるため、とても不安です。グループでプレゼンをするため、同じグループの人と仲良くなれるか心配ですが、自分なりに精一杯頑張りたいです。

再びオンライン授業になってしまふ可能性もあるので心配ですが、これからも感染対策に十分取り組み、春からの新しい大学生活を楽しみたいです。

夏に体調崩し通学出来ず 今年は挽回を

関西の私立大学2年生になった女子学生

慣れないなりにもオンライン授業と課題に追われながらも日々、生活をしています。昨年はコロナの感染が拡大したことからオンライン授業を受けることとなってしまいました。一時は、オンライン授業と対面授業を並行して行っていましたが、感染拡大によりオンライン授業へと切り替わりました。考査などもオンラインになったり、レポート課題になったりと様々でした。夏に体調を崩してしまったので、大学に通うことはありませんでした。先生方のご支援もあり、一部の科目を除き単位を取得することができました。

落としてしまった単位は、今年中に挽回するつもりです。今回の履修でもいくつか再履修して取り組んでいます。実習に関する単位も落としてしまっているのでそちらも必ず今年中に再履修して単位を取得して来年こそ実習に参加したいと思います。

昨年は全く大学に通うことが出来なかつたので今年こそはと気合を入れ、登校日にはきちんと通っています。やはり、大学で授業を受けるということは授業に対しても集中することができてとてもいいと実感しています。オンラインだとあまり集中できないことがあるので、対面授業を受けることに意義があるのだろうなと思います。

私生活は、一年かかりやつと家事全般に対して慣れてきたように感じます。今まで全てにおいて完璧を求めて疲れるばかりでしたが、最近では少しづつ手を抜くことも出来るようになりました。これによって少し肩の荷が下りて楽になった気がします。

アルバイトも続けてはいますが、あまり入ることが出来ていません。希望シフトは提出しているのですが、企業自体の業績が良くなくて時間を短縮されることもしばしばあります。このご時世では仕方がないことなのかもしれません。政府から私たちのような人に支援金が給付されると、もう少し生活が楽になるのだと考えるばかりです。これからも学業と私生活の両立に励みたいと思います。

ピア・リーダーに認定 学業成績も当初の目標を達成

四国の私立大学2年生になった男子学生

1回生の後期の授業は、メジャーの基礎科目やピア・リーダー養成の講義などを受けていて成績の低下を心配していたが、前期よりも良くなっていた。昨年4月にたてた目標も達成できた。ピア・リーダー養成は講義、面接ともに大きな問題点もなく、無事に2021年度のピア・リーダーとして認定された。大学の講義では好成績を収めることができたが、教員コースのテストの結果は満足できない状態が続いているので、今年の春学期には良い点数を取るのが今のところの第一優先事項だ。

後期はアルバイト・生協学生委員会・部活動とやることが多く、忙しかった。だが、この半年間は、自分がまだ知らないことを経験できたため、勉学以外の様々な能力を伸ばすことができた。アルバイトはこの半年間で、お金を稼ぐ大変さや仕事というものの楽しさ、大変さを学ぶことができた。生協学生委員会の活動は新入生の不安を解消するための活動が多く、少しほは、新入生の力になれたのではないかと思っている。部活動の卓球は、少しではあるが大会などにも参加することができた。大会に出場することで自分の実力を知ることができ、悔しい思いをすることもあったが、その楽しさを再確認できた。また、3月末からは学内に新しい寮ができる、現在はその寮で生活をしている。

今後の抱負だが、4月から大学のカリキュラムも変わり3学期制となるので、なるべく早く新しい環境に慣れたい。講義も難しくなると思うので、勉強量を増やし、成績の維持・向上に努めていきたい。そして、教員のコースに入るためにもテストの得点を9割以上獲得することが一番の目標である。勉強と委員会活動などやるべきことは多いが、自分のさらなるスキルアップを目指してこの1年間を有意義に過ごしていきたい。

ゆっくり人との直接的な関わりに慣れていくべき

首都圏の公立大学2年生になった女子学生

後期では、対面の授業が前期に比べて少しだけ増えました。オンライン授業に慣れてしまっていたからでしょうか、初めて同級生や教授と直接会って教室でする講義は新鮮で、なんだかとても緊張しました。特に教授は、パソコンの画面を通してずっと見ていて、Youtuber を目の前にしているような気持ちでした。友達も出来て、ご飯に誘つてもらったりしました。対面の授業で会うその子とはお互いマスク姿しか見ていなかつたので、マスクを外して食事をする時に、そういえばこれが友達の顔を完全に見る初めての機会なのだということが、とても不思議でおかしかったです。しかし、直接言葉を交わしたり、みんなの前で発表したりする中で、思うようにいかなかつたり、スピード感に追いつけなかつたり、劣等感を覚えたり、落ち込むことも倍増えました。全てがオンラインの中では、意見や主張にワンクッション置けたり、考える時間が多かつたりするため、こういった直接のかかわりの中での感覚を少し忘れてしまっていたのだと思います。これからゆっくりリハビリみたいに、人との直接的な関わりに慣れていくべきだと思います。

春からは新しい時間割、新しい講義、新しいクラスでの毎日が待っています。2年生になったので、履修できる講義の幅が広がったのは楽しみですが、選択肢は多かつたら多いでそれはまた困るものなのだと履修を組みながら感じています。こんな贅沢な悩みをぼやきながら、2年目の大学生活も楽しんでいきます。

クラスターや休校にはならず元気で毎日学校へ登校

首都圏の動物専門学校2年生になった女子学生

1年次後期が終わりました。学校祭に2年生の研修発表会、卒業式、全館清掃などの行事がありました。コロナ禍であり、緊急事態宣言発令中ではありましたが、一通り行うことができました。学校祭は規模を縮小して来校される人を限定、発表会は使用する教室を1、2年生で階を分けてモニターで映像を流して行いました。卒業式は市民会館で行い、私たち在校生も出席することができました。全館清掃では学生ホールの清掃を行いました。この半年間は、通常通りに行う事ができなかつたことの方が多かつたけれど、学校がコロナ対策で検温や声掛けを実施して、私たち、生徒一人ひとりも高い意識を持ち、クラスターや休校にはならず元気で毎日学校へ登校することができました。

後期テストは前期に比べて思うような成績が残せませんでした。再試験だけでなく、補講も受けることになり、自分では一生懸命に努力したと思っていたのですが、努力がまだまだ足りないと自覚しています。2年次前期は、授業の復習、テスト勉強の方法の見直しをしっかり取り組まなければならぬと自覚しています。通学時間で多くの時間

がとられてしまうことは分かっているので、電車内でも工夫して勉強に取り組みたいと思っています。今年度は、施設研修や就職先を決める大事な時間になります。1年次の様な欠席や遅刻がないだけでなく、高い目標を掲げて、就職、社会人生活のスタートをきれるように努力していきたいです。

オープンキャンパスのスタッフ活動に力点 早くも就職先内定

東北のビジネス専門学校2年生になった女子学生

入学して1年がたちました。初めはとても不安でしたが、現在は毎日が忙しくとても充実しています。今年度も検定取得とオープンキャンパスのスタッフ活動に力を入れています。

冬休み前にMOS Excelと日商簿記3級に合格しました。冬休み後には、MOS Wordの検定に合格しました。FP3級の取得にも力を入れていたのですが、1点足りずに惜しくも落ちてしまいました。次回取得できるように現在も勉強に励んでいます。新年度からは、MOS Accessや、販売士の資格等の取得を目指して、今後はさらに力を入れていきたいです。オープンキャンパスのスタッフ活動に力を入れています。スタッフの人数が少ない中で、どうしたら高校生たちが、快適に安心して参加してもらえるかを先輩方や担当の先生と考えて実行してきました。その頑張りが認められて、2月からスタッフリーダーになりました。新年度からは、新しいスタッフが増えるのでその人たちに仕事を教えるながら、高校生たちがより快適に活動ができるように幅広くサポートしていきたいです。

昔から人を笑顔にしたいという思いが強くあり、その気持ちを軸に就職活動を始めました。インターンシップに参加をして話を聞く中で自分の気持ちにぴったりの企業を見つけ、さらにその企業は幅広い事業に展開しているところにも興味を惹かれ、求人に応募しました。私の入社は2022年ですが、早くも2020年12月に内定をいただきました。今年度は学生生活最後ということもあり、昨年度よりもさらに忙しくなりますが、内定をいただいているので、入社に向けてさらにスキルアップをし、充実した学生生活を送りたいです。

准看護師として働きながら夜間の専門学校に 両立慣れてきた

九州の看護専門学校2年生になった女子学生

准看護師として働きながら夜間の専門学校に通い始めて1年が経ちました。だいぶ仕事と勉学の両立に慣れてきました。仕事では指導していただくこともだいぶ減り、その分1人で行わなければならぬことも増え、より一層責任感が重要になってくると日々業務で感じています。迷ったり不安になったりすることもありますが、職場の

先輩が指導してくださったり、助けてくれています。最初よりも患者さん、スタッフ間でのコミュニケーションをとる機会も増えて楽しく仕事が出来ています。今年は2年目になるため基礎的な看護を伸ばしつつ新しいことにも挑戦してより成長できるように学校の合間に仕事の勉強もできるだけ行えるように努力していきたいです。

学校では授業の内容が徐々に難しくなるにつれ、再試になってしまふことも最近増えています。そのため学業が疎かにならないよう計画性を持って前もって勉強してテストに向けて準備していくようにしていきたいと思います。学校の勉強は仕事にも大きく影響するため仕事の質をあげるためにも努力していきたいです。学校生活ではコロナの影響でリモート授業だったのも徐々に対面授業に移行され、同級生と顔を合わせたり話したりする機会も増え、楽しく過ごせています。2年生の後半からは実習が始まるところで、実習がメインの1年になると想像しています。実習では普段の業務では学べないことを教えてもらい、楽しみに思っている反面、仕事と実習の両立が行えるかどうか不安です。同級生と協力しながら実習で学びを深められるようしっかりと準備して臨んでいきたいと考えています。